

市議会だより

5月臨時会

- 市議会議員選挙後の議会人事を決定

6月定例会

- 平成29年度一般会計補正予算などを可決

目次

議会の人事	②・③
議案の審議(5月臨時会・6月定例会)	④
委員会の審査	⑤
議決結果	⑥
人事案件	⑦
市政に対する一般質問・陳情・請願・ 視察受け入れ状況	⑧～⑪
市議会案内板	⑫



改選後の新体制を決定

議長に 野田 直人 議員、副議長に 中元 太 議員を選出

4月23日に市議会議員が改選されたことに伴い、5月17日に第2回臨時会が開かれました。始めに正副議長を選挙によって決め、その後に常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、埼玉県都市競艇組合議会議員の互選、広域飯能斎場組合議会議員・埼玉西部消防組合議会議員の選挙などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

立候補制による正副議長の選挙では、本会議を休憩し、議場において立候補を表明する発言が行われました。

議長選挙の結果			副議長選挙の結果		
野田 直人議員	11票		中元 太議員	14票	
内田 健次議員	4票		滝沢 修議員	5票	
金子 敏江議員	4票				

議長・副議長就任あいさつ

～市政発展のため、実行力ある議会を目指して～



議長
野田直人

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは、4月の改選後初めて開かれました5月臨時会におきましてご推挙いただき、議長、副議長に就任いたしました。

自治体の自主的な決定と責任が拡大する中、意思決定機関、行政の監視機関として議会の責務は重大であります。そして、市民の皆様の声を議会での議論を通して、市政に反映していくため、政策形成機能を高めていくことが求められております。

本市では、独自の森林文化都市を創り上げ、メッツァと連携し観光振興をはじめとする地域活性化、子ども、女性、若者、子育て世代から高齢者世代の皆様方が、いきいきと暮らせるまちづくりに向け、市民、事業者、行政が一体となった取り組みが始まっています。

市議会といたしましても、議会としての使命を果たすために、議会が持つ様々な権能について、議会改革を推進し、一定の成果を挙げてきたところであります。

今後も、議会基本条例に基づいた活動、議会改革をさらに推進するとともに、執行機関との真摯な議論により、有効な政策を推進し、諸課題の解決に向けて、慣例にとらわれることなく、一層の創意工夫と努力を積み重ねてまいります。

市民の代表として、その負託と信頼に応え、さらなる市民生活の向上と市政発展のため、実行力のある議会を目指して全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



副議長
中元 太

会派の構成

◎代表者(平成29年5月17日現在)

みどりの会	◎平沼 弘	加藤由貴夫	砂長 恒夫	野田 直人
NEXTはんのう	◎大津 力	関田 直子	野口 和彦	
清風会	◎鳥居 誠明	新井 重治	内田 健次	
公明党	◎栗原 義幸	中元 太	松橋 律子	
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修	山田 利子	新井 巧
日本維新の会	◎坂井 悦子			
無所属	加涌 弘貴			

委員会の構成

※◎印は委員長 ○印は副委員長



<p>議会運営委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●議会の運営に関する事項 ●議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ●議長の諮問に関する事項 <p>定数7人 (欠員1人)</p>	<p>◎平沼 弘 ○野口 和彦 新井 重治 坂井 悦子 栗原 義幸 新井 巧</p>
<p>総務委員会</p>	<p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般会計の歳入 ●企画総務 ●財務 ●他の委員会に属さないもの <p>定数7人</p>	 <p>◎大津 力 飯能339-6 ○内田 健次 原市場654-4 坂井 悦子 川寺583-7 中元 太 落合364-47 滝沢 修 岩沢1146-1 加藤由貴夫 新町25-1 砂長 恒夫 飯能703-7</p>
<p>厚生文教委員会</p>	<p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康福祉 ●教育 <p>定数6人</p>	 <p>◎栗原 義幸 川寺533-4 ○野口 和彦 前ヶ貫266-27 山田 利子 八幡町6-15 新井 巧 井上732-7 鳥居 誠明 緑町13-13 野田 直人 飯能1211</p>
<p>経済建設委員会</p>	<p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民生活 ●産業環境 ●建設 ●上下水道 ●農業 <p>定数6人</p>	 <p>◎松橋 律子 永田345-5 ○関田 直子 岩沢862 新井 重治 岩沢685 平沼 弘 南川1936 金子 敏江 大河原794-1 加涌 弘貴 美杉台2-11-5</p>

議案の審議

5月臨時会は、5月17日に開かれ、市長提出議案5件、その他2件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

6月定例会は、6月9日から23日までの15日間開かれ、市長提出議案22件、請願1件、その他1件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

五月臨時会

市長提出議案

③7 専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問 軽減措置が拡大されるが、市の対象人数及び軽減額は、

答 五割軽減、二割軽減及び七割軽減については、合計で約一万四百人、軽減額として約一億六千二百万円となり、加入者全体の約四割の方が対象となると考えている。また、平成三十年度から国保は都道府県化ということになり、軽減の対象についても、国保の広域化について検討することになる。

六月定例会

市長提出議案

④0 飯能市条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問 わがまち特例の保育事業について軽減される内容は、

答 地域型保育事業として家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、また、事業所内保育事業の利用定員五人以下のところが該当になり、平成三十年度以後の家屋及び償却資産が軽減の対象となる。また、企業主導型保育事業については、事業の用に供する土地、家屋、償却資産が対象となり、国の補助を受けて開始した事業が対象となる。軽減割合の最大の三分の一を用いて推進していく。

問 ライセンス契約等について、

答 トーベ・ヤンソンの名を冠すること、ヤンソンの名を冠するとして、全世界に対して発信ができるというようなことを中心に契約交渉を行い五月中旬に整った。今回四年間で一万五千ユーロ、日本円で百八十五万円前後の金額で契約した。

問 あげぼの子どもの森公園の名称変更に伴い、同公園の名称を引用する条項を整理するもの。

答 ④2 飯能市都市公園条例の一部を改正する条例

あげぼの子どもの森公園の名称変更に伴い、同公園の名称を引用する条項を整理するもの。

問 施設の運営については現在検討を進めているところであり、いろいろな選択肢の中から公園の魅力アップに最大限の効果が発揮されるよう検討している状況である。

答 施設の運営については現在検討を進めているところであり、いろいろな選択肢の中から公園の魅力アップに最大限の効果が発揮されるよう検討している状況である。

問 コウノトリ事業(不妊治療費助成事業)の拡充について。

答 不妊治療費助成については、平成二十九年四月五日以降に治療が終了し、治療開始時に妻の年齢が三十五歳未満である夫婦の初回の特定不妊治療の場合は、さらに十万円の上乗せ、一千万円まで助成を行う(拡充)。不妊検査費助成については、不妊検査時に妻の年齢が四十二歳未満である方を対象とし、不妊検査費の自己負担に對して、一万円を上限とする新設。

問 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二百二十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出三百二十八億四百七十二万円とするもの。

答 ④3 平成二十九年飯能市一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二百二十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出三百二十八億四百七十二万円とするもの。

問 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、四千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ七億九千五百一十九千円とするもの。

答 ④6 平成二十九年飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、四千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ七億九千五百一十九千円とするもの。

問 下水道ストックマネジメントについて。

答 長期的視点で下水道施設全体の今後の老朽化を考慮して、管きよの布設年数や重要度、地理的条件などを優先順位をつけた上で、施設の点検調査、修繕、改築を実施し、施設管理を最適化することを目的とし、今回の増額補正によりポンプ場とマンホールポンプ場を対象として策定したい。

問 増額補正の工事場所とその内容について。

答 社会資本整備総合交付金の中の住宅基盤整備事業が見込みを上回ったことから増額をお願いするものである。都市計画道路川寺岩沢線で加治小学校から東へ岩沢方面へ延びる東西の道路である。区画整理地内も見えるような形で道路ができ上がっており、今後補助金を有効活用し、区画整理事業を推進していきたい。

問 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

答 ④5 平成二十九年飯能市下水道特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

問 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

答 ④5 平成二十九年飯能市下水道特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

なお、5月臨時会で上程された議案は、議事の都合により委員会への付託を省略いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

④① 飯能市税条例等の一部を改正する条例について

●地域決定型地方税制特例措置、通称「わがまち特例」の導入に関する改正で、固定資産税課税標準額の特例割合を定めるものであり、大きく分けて、保育関連事業と緑地関連事業の二項目となること。

●保育関連事業が「わがまち特例」の対象となった背景は、待機児童問題が改善しない現状があり、保育環境の充実を必要とするため、保育の受け皿整備をしやすくするために実施されるものであること。

●平成二十九年年度税制改革は、女性や若者の活躍を進めることにより「億総活躍社会」を実現し、日本全体の成長力を底上げするため、個人所得課税改革として働き方を意識しないで済む仕組みを構築する観点から、配偶者控除、配偶者特別控除の見直しを行うとしていること。

④③ 平成二十九年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●県補助金として、不妊検査費の助成金を一組当り二万円、五十組、不妊治療費の助成金は、

一組当り十万円、十組をそれぞれ見込んでおり、県のウェルカムベイビープロジェクトとして事業を進めているものであること。

厚生文教委員会

④③ 平成二十九年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●不妊治療を受けたことによる効果は、全国的な統計では、一回の不妊治療による妊娠率は約四〇％で、飯能市においては、特定不妊治療費の助成を受けるために必要な書類で確認したところ、平成二十七年度は申請件数二十八組中十八組、二十八年度は二十九組中十六組の夫婦で妊娠に至ったという結果になっていること。

●従来は、県が実施している初回の特定不妊治療費に対する助成の三十万円と、飯能市が平成二十七年から実施している助成の十万円を合わせて四十万円だったが、妻の年齢が三十五歳未満で、初回の特定不妊治療の場合、さらに十万円上乗せ、合計で五十万円まで助成することとなること。

●小学校寄付金事業については、青梅信用金庫からの寄付を加治小学校の備品購入費とし、

学校が希望しているマリンバを購入するものであること。

④④ 平成二十九年年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

●拠出金負担については、加入者の数に応じて負担する加入者割から、報酬の額に応じて負担する全面総報酬割に変更になったことから、被用者保険の中でも報酬水準の高い健康保険組合は負担が大きくなったこと。

●運営事務については、広域化に伴い納付金を納めることになるが、今までの市の運営では医療費が急激に増えた場合、財源の確保が難しかった。広域化されることで医療費については、県から交付金が交付されることになるので、財政運営的には安定することが考えられること。

経済建設委員会

④② 飯能市都市公園条例の一部を改正する条例

●トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園内の新たな飲食のできる施設はファーストフード、カフェ的なものを考えている。運営については、公園の魅力アップに最大の効果が発揮できるように慎重に検討している段

階であること。

●子ども劇場の運営について、イベントは平成二十八年年度年間四十五事業行っており、今後、指定管理者の導入も選択肢の一つと考えていること。

④⑤ 平成二十九年年度飯能市下水道特別会計補正予算(第一号)

●終末処理場施設整備事業の設計委託の耐震設計について、今回追加した塩素混和池の一部の耐震性が脆弱であると判明したため、処理機能の確保という観点で追加したものであること。

●測量・設計委託料、ストックマネジメント実施方針策定委託料等についての委託先の決定は、入札、または、施設を稼働させながら施工する高度な工事内容になる委託については、日本下水道事業団への委託も考えられること。

④⑥ 平成二十九年年度飯能市笠縫地区画整理特別会計補正予算(第一号)

●双柳岩沢線と川寺岩沢線は、笠縫地区において重要な路線であり、どちらの路線も補助金のメニューが違い、使い分けており、今回は双柳岩沢線に充てられるものではないこと。

平成29年5月臨時会 議決結果

■全会一致の議案

議案番号	議案名	議決結果
35	専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)	承認
36	専決処分の承認を求めることについて(飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
37	専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
38	固定資産評価員の選任について(町田 守弘 氏)	同意
39	監査委員の選任について(砂長 恒夫 氏)	同意

平成29年6月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案


表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議席番号・議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		新井 重治	坂井 悦子	関田 直子	大津 力	野口 和彦	内田 健次	平沼 弘	栗原 義幸	中元 太	松橋 律子	滝沢 修	山田 利子	新井 巧	金子 敏江	加藤由貴夫	砂長 恒夫	鳥居 誠明	加浦 弘貴	野田 直人	
請願2	個人の基本的人権の擁護を前提とした民主主義の原則および憲法が保障する言論の自由を守るため「テロ等準備罪法案(組織犯罪処罰法改正案)」に反対する意見書を国へ提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	-	不採択

※野田直人議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

議案番号	議案名	議決結果
40	飯能市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
41	飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
42	飯能市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
43	平成29年度飯能市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
44	平成29年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
45	平成29年度飯能市下水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
46	平成29年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
47	市道路線の廃止について(大字大河原地内)	原案可決
48	市道路線の認定について(大字大河原地内)	原案可決
49	市道路線の認定について(大字青木地内)	原案可決
	議員派遣の件	派遣
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について(嶋田 豊一 氏)	異議はない
50	公平委員会委員の選任について(川田 憲治 氏)	同意
51	農業委員会委員の任命について(大久保 博司 氏)	同意
52	農業委員会委員の任命について(関谷 英男 氏)	同意
53	農業委員会委員の任命について(利根川 哲 氏)	同意
54	農業委員会委員の任命について(中里 元 氏)	同意
55	農業委員会委員の任命について(平井 純子 氏)	同意
56	農業委員会委員の任命について(松本 健一 氏)	同意
57	農業委員会委員の任命について(山下 敏郎 氏)	同意
58	農業委員会委員の任命について(山下 富司 氏)	同意
59	農業委員会委員の任命について(吉田 勝紀 氏)	同意
60	農業委員会委員の任命について(綿貫 幸進 氏)	同意
選挙6	埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	選挙



議員20年以上

加浦 弘貴議員

全国・埼玉県の各市議会議員の定期総会において、二十年以上市議会議員の職にある者として、加浦弘貴議員、松橋律子議員、新井 巧議員、山田利子議員が表彰を受けました。

また、埼玉県市議会議長の定期総会において、三年以上正副議長の職にある者として砂長恒夫議員が、三年以上副議長の職にある者として松橋律子議員が表彰を受けました。

議員表彰



正副議長 3年以上



砂長 恒夫議員

議員20年以上



山田 利子議員

議員20年以上



新井 巧議員

議員20年以上
副議長 3年以上



松橋 律子議員

人事案件

固定資産評価員の選任について

固定資産評価員として、町田守弘氏（資産税課長）を選任することについて、全員同意しました。

監査委員の選任について

議員のうちから選任する監査委員として、市議会議員砂長恒夫氏を選任することについて、全員同意しました。



砂長 恒夫議員

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員清水潤次氏が平成二十九年二月二十八日をもって委員を辞職したので、候補者として、新たに嶋田豊一氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。



嶋田 豊一氏

公平委員会委員の選任について

公平委員会委員川田憲治氏が任期満了となるので、引き続き同氏を任命することについて、全員同意しました。



川田 憲治氏

農業委員会委員の任命について

農業委員会制度の改革に伴い、農業委員会委員に大久保博司氏、関谷英男氏、利根川哲氏、中里元氏、平井純子氏、松本健一氏、山下敏郎氏、山下富司氏、吉田勝紀氏、綿貫幸進氏を任命することについて、全員同意しました。



大久保博司氏



関谷 英男氏



利根川 哲氏



中里 元氏



平井 純子氏



松本 健一氏



山下 敏郎氏



山下 富司氏



吉田 勝紀氏



綿貫 幸進氏



市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長（執行部）に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、15人が質問にたちました。

子育て支援の充実

問 大久保市長就任以来、子育て支援のサービスが充実している。その結果、飯能市の人口は転入超過の実績が出ており、選ばれるまちになってきた。特に、〇歳から四歳までと、二十歳から三十四歳までの子育て世代の年代が、最も多く増えている。さらに徹底した子育て世代を戦略的な位置付けで増やしていくべきと考える。極端に言えば、早朝深夜、休日に関わらず、二十四時間三百六十五日体制の保育サー

野口 和彦

答 ビスの実現を提案するが。少子高齢化、人口減少という課題を克服しなければならぬ。今まで実現してきた政策を継続させるとともに、待機児童ゼロはもちろんのこと、子育て世代に寄り添い、希望する全ての人が保育所を利用できる、飯能市民なら、いつでも、誰でも保育サービスを利用できるように、全国でも例のない思い切った政策を行っていく。

公有財産の活用について 阿須山中の土地を自然公園以外の活用は

大津 力

問 阿須山中の土地を、民間活力、民間の斬新なアイデアなどを取り入れ、レクリエーション施設、木材等の森林資源の供給地、樹木葬などの自然霊園等の活用は考えられないか。

答 阿須山中の土地約十七ヘクタールについては、現在、飯能市が自然公園の名目で土地開発公社から毎年度一億円ずつ平成三十三年度まで買い戻すこととしているところ。阿須山中の土地を始めとした市が保有する公

有財産の活用方策については、公共施設等総合管理計画を踏まえてつちも、地方創生の観点から、従来からの考えにとらわれず、その活用方策について検討していくべきではないかという意見もある。阿須山中の土地の活用方策については、自然公園としての利活用に限定することなく、地方創生の観点から、幅広く検討していく。

健康長寿社会の実現施策を 健康増進で予防に力 受動喫煙対策は

坂井 悦子

問 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療は単独で賄えず繰入金に頼っている。支出抑制策は、**答** ジェネリック医薬品使用や保険事業を推進する。**問** 全市民利用可能なジェネリック使用の意思表示紙片を広報はんのうに掲載しては。**答** 周知方法の一つと考える。**問** 保険事業は、民間では総予算の5%超に対し、市は2%少々。健康増進事業を予算比二倍以上にすべきでは。

答 健康増進効果のある事業は予算化するなどしたい。**問** 運動による健康回復は健康寿命の延長、医療費削減が期待できる。単発ではなく反復継続した運動習慣に絡めて取組むべきでは。**答** ウォーキングを健康の柱にイベントを実施している。**問** 受動喫煙対策がないに等しく、非常に遅れているが。**答** 関係課と連携して努める。

区画整理及び下水道の推進は 清川橋の架け替えは

新井 重治

問 岩沢の区画整理地内には狭隘道路が多く、緊急車両も入ってこれないなど、人命にも関わる状況である。幹線道路整備も重要だが、早急に狭隘道路の解消にも取り組むべきだが。**答** 今後、緊急性・優先度・現場の状況などから判断し、対応してまいりたい。

問 岩沢地区の下水幹線は進んできたように思うが、枝線管渠はまだ先が見えてこない状況である。今後は現存する道路にも

積極的に下水管を入れ、排水処理を推進するべきだが。**答** 現場の条件及び技術的に可能であれば、現存する道路にも積極的に下水管を入れるよう対応したい。**問** 清川橋は地域の幹線道路であり、災害時の緊急輸送道路でもある。橋の現状から判断すると、架け替えるべきと思うが。**答** 今年度実施予定の橋りょう調査の結果を受け、今後の対応について判断したい。

美杉台七丁目臨時家庭ごみ集積所に 商業施設誘致を

自治会防犯灯LED整備事業

加蒲 弘貴

問 美杉台六、七丁目、茜台は活発な住宅開発や企業誘致により人口が急増している。課題は商業施設の不足。将来の高齢社会を見据え商業施設の誘致を。今後の高度な政治判断に期待するが。

答 ご寄附の西武鉄道との協定もあり植栽し山林として管理する。

問 自治会負担の維持管理費が電気代の削減効果ですべて賄える。すでに平成二十四年九月議会一般質問で導入メリットを提案したが、この間、市の要請に基づき

多額の費用で自前によりすべてLED化した自治会において、電灯買取りの要望書が提出された。今後自治会総会で会長は詳細説明が求められてくる。自治会との信頼関係を損なわないためにも、市の要請に正直に応え努力した自治会に、特段のご配慮を願いたい。

答 市の協力依頼に貴重な自治会費で熱意を持ってLED化に取組まれ敬意を表する。何らかの形で平成三十年当初予算にて対応するよう担当課へ指示した。

返済不要の給付型奨学金制度について 小中一貫教育とコミュニティスクール 導入について

栗原 義幸

問 国では来年度から給付型奨学金の制度が本格実施となる。飯能市でも制度実施を具体的に検討すべきと考えるが。

答 現在飯能市で実施する制度は無利子で返還でき、学生への負担は低いと考える。給付型については国の動向を注視する。

問 小中一貫教育について飯能市での取り組み状況を聞く。

答 中学校区ごとの小中共通の目標による教育推進。英語等の授業で中学教師による小学校で

の授業。行事の合同化や教職員合同研修会等を行っている。

問 コミュニティスクールへ学校運営協議会は、地域の力を学校教育の推進に反映させ地域連携強化や活性化も目指すもの。飯能市では小規模校を中心に小中一貫校も視野にコミュニティスクールと連動させた取組が有効と考える。飯能市の見解を聞く。

答 地域の課題でもあり、慎重な研究・検討を重ねて参りたい。



保健センター



LED防犯灯

市民要望 乳幼児健診時の保健センター駐車場について

関田 直子

問 大切な子育て支援の一つに二ヶ月児から月齢毎に毎月行われる乳幼児健診。その際に指定される駐車場は市役所の駐車場である。市内のお母様から二ヶ月時健診は八月の午後。とても暑い日に市役所線路側の駐車場から保健センターまでの道のりは生後二ヶ月の赤ちゃんには大変厳しい状況である」とのご意見。世界的な気候変動により日本の夏は酷暑、さらには大雨、大雪と気候からも子供を守る時代。大

きな荷物を抱え兄弟をおんぶに抱っこにお母様にとっても優しい環境ではない。近くに広い駐車場完備の別施設、もしくは保健センター近くに駐車場を用意いただけないか。

答 個人情報持ち出しによる流出、様々な人々が入り出す施設では感染の懸念、計器等の移動による破損等を危惧する観点から保健センター以外での実施は難しい。保健センターにより近い駐車場を鋭意検討する。

国保が都道府県化されても 市独自に軽減を

新井 巧

問 来年度から、国保が都道府県化される。県のシミュレーションでは、飯能市の一人あたり国保税が三十七%増、十二万円以上に増額になる。県国保運営方針の策定に向けて、①国保は社会保障制度であり、国の責任で予算を確保すること。②保険料決定等の権限及び予算決定権は、市町村にあることを明記する。

針はあくまで技術的助言であり、法的拘束力はない。保険料賦課の権限はこれまでと同様に市町村にある。一般会計からの法定外繰り入れは市町村の政策判断だと回答している。市独自に、①低所得者の窓口負担金の軽減・減免を入院だけでなく、外来も含めること。②子どもの均等割の廃止を求めるが。

③強制的な差し押さえや滞納処分を禁止することなどを求めている。厚労省は、「国保運営方

答 今後県内統一基準の検討が進められることから、その動向を見ていきたい。

子育て世代の大きな願い 学校給食は無償化に

滝沢 修

問 度々、取上げている学校給食費無償化の質問だが、市民の皆さんからも多くの署名も寄せられた。県内でも既に十市町村で無償化や補助が行われているが改めて市の考えは。

答 公立小中学校の給食は、学校給食法により食料費は保護者負担の規定があり負担をお願いしている。

問 学校給食法第十一条の規定は、地方公共団体が給食費を支出してはならない事を定めたも

のではないとされている。坂戸市などの様に第三子以降は無料の制度としたらどの様になるか。

答 第三子以降を無料とする一千万円が必要となる。しかし、その考えはない。

要 本来、日本で学ぶ全ての子どもたちが安心して学校給食を食べる事ができるように国の責任で学校給食費の無償化とすべきと考えている。しかし、その段階にはない、市の制度として導入するよう求める。

土曜日・日保育を山手保育所以外にも増やすこと

山田 利子

問 各保育所から山手保育所に集められての保育は、行政の都合と財政削減が目的であり、児童福祉法の観点から子どもの人権がないがしるにされていると考えるが。

答 受け入れ枠が、やがてオーバーした時点では、別の保育所での実施が必要であると考えます。

問 児童扶養手当の支給は、年三回・ひとり親世帯の生活の安定、自立の促進、児童福祉の増進を図るための制度である。そのためには毎月支給をすべきでは。

答 国の「ひとり親家庭の利便性の向上及び家計の安全を図る観点から支給回数を含め必要の検討をすること」の付帯決議もあり、今後の国の動向を注視する。

問 一箇所のため、子どもや保護者のみならず、保育士も休みが取れないなど、労働条件の悪化につながっている。是非、早急に検討すべきではないか。



飯能市立山手保育所
山手保育所



赤ちゃんスマイルクーポン券

市のプライマリーバランスは 地域包括ケアのボランティアについて 高齢者住宅について

松橋 律子

問 市は行革に努め、黒字化に努力をしてきた。しかし、平成二十一年度を目標に財政健全化計画を見直す話が出てきたが、市の現状は。

答 市のプライマリーバランスは約十億円の赤字。要因はクリーンセンター（仮称）飯能大河原線の建設事業債、今年度の元利償還額が一般会計で二十三億七千万。市債総額約三百九億、企業会計と合わせると四百七十六億円。今後も耐震補強、防災・減災などの「公共施設整備費」の計画もある。

問 地域でサービスを受ける為に整備が必要と考えるが。

答 重点施策事項にも「高齢者の居住安定に係る施策との連携があり、サービス付き住宅住み替えの場の充実が指摘されている」とのことである。

問 地域包括ケアシステムのボランティアは。

答 シルバー人材センターに市内全域を担ってもらい、各地域では地域福祉推進組織に協力要請していただけるように調整中。

問 財政問題について
市街地の再開発・無電柱化について
観光いちご農園について

問 市債の借入額は毎年十五〜二十億円ずつ増え、本年度末の累計は四百七十六億円。今後の計画は。

財政問題について

市街地の再開発・無電柱化について

鳥居 誠明

問 公共施設等総合管理計画では今後毎年、二十七億円ずつ必要。

問 今後、精明東部に十八haで企業誘致を計画されているが、雇用は何人くらいを考えているのか。

答 人数は申し上げられないが、企業が本市に根付いてもらうことが重要と考える。

問 中心市街地を景観や防災面で再開発を進めるべきと考えるが。

答 住民、訪ねる人、双方の視点で将

問 東銀座通り無電柱化の進捗は。

答 久下六道線と併せて検討する。

問 都市公園に時計の設置をする考えは。

答 利用状況を研究し、検討する。

問 メツアと圏央道ICの間の観光いちご農園建設に援助をすべき。二次加工等で雇用確保もできるが。

答 農家の方主体で進めて欲しい。

問 〇歳児おむつ無償化事業で、育児サービスにも利用を可能にすべきでは。

答 市としては消耗品が対象だが県では準備をしている様である。

宮ノ瀬橋周辺工事状況 バス停新設・猿対策は 西川広域森林組合対策

内田 健次

問 宮ノ瀬橋の工事が中断されているが今後の予定は。

答 現況と設計に差があり、変更を含め秋以降に再開する方向であると県から伺っている。

問 土屋医院前信号周辺整備は。

答 妻沢・倉掛側は概ね終了した。郵便局側の道幅と信号連動歩道整備を県との連携を進めていく。

問 買い物弱者対策でエコス前バス停設置を以前お願いしたが。

答 六月十六日から供用を開始した。

問 狭い橋を歩行者が歩く下赤工バス停を移動すべきだが。

答 市でも二名の派遣を含め、経営再建を目指す西川広域森林組合経営改善計画進捗管理委員会を設置し支援を続ける。

「就学援助」認定基準の拡大を 全市自治会防犯灯LED化事業と 既設自治会への対応

金子 敏江

問 現在、飯能市は、生活保護基準の二・三倍の家庭の子どもの学用品費、給食費等を公費負担する就学援助制度を実施しています。さらに基準を拡大して子育て世帯を応援してほしいが。

答 女性と子どもにやさしい市政に全力を挙げているところ。鋭意、検討していきたい。

問 飯能市が、自治会防犯灯の一括リース方式によるLED化促進事業に取り組みようとしていることに対して、市内自治会では負

答 関係者と協議を重ねてゆく。猿を含めた鳥獣被害対策は。地域ぐるみの対策が最も重要。圃場環境を変化させる等さらに研究をする。

問 山林の不在地主放棄林対策は。

答 森林環境税の議論と並行して、市町村主体の森林整備の導入を視野に入れて検討を進める。

問 森林組合改革の進捗状況は。

答 市でも二名の派遣を含め、経営再建を目指す西川広域森林組合経営改善計画進捗管理委員会を設置し支援を続ける。

都市計画

加藤 由貴夫

問 まちづくりは市民参加協働の作業である。まちなかの歴史や景観を守ることは大切にしていかなければならない。市街化調整区域の丘陵ゾーン内の違反建築等を未然に防ぐ取り組みは。

答 職員によるパトロールの中で違反を発見した時は行為者を特定し、行為の中止を求めている。

問 具体的な指導は。

答 行為の中止、使用停止、許可の取得、建築物の除却など

状況に応じた是正を求めている。

問 行政庁として今後できることは。

答 罰則も含め、最も効果的な手段を選択していく。

問 まちなみの景観、里山の保全、安心と安全を確保することの観点からも、毅然とした対応を求めるが。

答 毅然とした対応、法令遵守に最も効果的と考えられる手段を選択し、実施していく。



宮ノ瀬橋

市民から市議会へ提出
○の中の数字は請願番号

提出者
長谷川 順子
外五百十六名

請願

○の中の数字は請願番号

②個人の基本的な人権の擁護を前提とした民主主義の原則および憲法が保障する言論の自由を守るため『テロ等準備罪法案(組織犯罪処罰法改正案)に反対する意見書』を国へ提出を求める請願
不採択(多数)

提出者
長谷川 順子
外五百十六名

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成29年度 市町村議会行政視察受入一覧
平成29年4月1日~7月3日

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
4月12日(水)	福井県坂井市議会 会派「志政会」「公明党」	10	・子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業
5月22日(月)	東京都羽村市議会 会派「新政会」	1	・新しいまちづくり計画による基盤整備事業 ・土地区画整理事業とそれ以外の手法を併用した計画
5月24日(水)	埼玉県久喜市議会 建設上下水道常任委員会	8	・飯能住まい制度について(現地調査あり)
7月 3日(月)	岐阜県海津市議会 総務産業建設委員会	7	・タブレット端末を導入した議会運営

陳情

○の中の数字は陳情番号

②「地球と人間を守るる社会体制創り」の為の地球社会建設
決議陳情書

提出者
荒木 實

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



審議の日程

5月臨時会

- 17日 開会、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員選任、埼玉県都市競艇組合議会議員選挙、広域飯能斎場組合議会議員選挙、埼玉西部消防組合議会議員選挙
市長提出議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程・提案理由説明・採決

6月定例会

- 9日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
14日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
15日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
19日 一般質問
20日 一般質問
21日 一般質問
23日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
閉会

議会日誌

4月

- 5日 飯能市議会広報委員会
17日 埼玉県都市財政研究会定期総会
19日 埼玉県市議会議長会定期総会
25日 関東市議会議長会定期総会
28日 政務活動費審査会

5月

- 8日 新議員研修会
9日 新議員研修会
10日 全員協議会
17日 第2回臨時会
19日 埼玉県市議会議長会第二区議長会定期総会
23日 代表者会議
24日 全国市議会議長会定期総会
26日 広域飯能斎場組合議会臨時会
30日 全員協議会、代表者会議

6月

- 2日 埼玉西部消防組合議会臨時会
6日 議会運営委員会
9日 第3回定例会(6月23日まで)
飯能市議会広報委員会
飯能市議会広報委員会
14日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

議会を傍聴しませんか

6月定例会では延べ164名の方が傍聴されました。

次回の9月定例会は
9月1日開会予定です。

会期日程等は8月29日頃内定します。

* 編集を終えて *

4月の市議会議員選挙は、50%を僅かに上回る投票率でした。今、市議会を理解していただく各地で取組が進められ、政治への関心を高める努力をしています。

改選後、臨時議会を経て6月の定例議会となりました。市政に対する一般質問には、質問が行えるすべての議員15名(議長・副議長・議会運営委員長・監査委員以外)が登場し様々な角度からの質問が行われました。議会だよりに掲載される一般質問は、ほんの一部しか紹介をすることができませんが、どの様にしたら市民の皆さんに議会が伝わるのか、広報委員会もメンバーが新しくなりました。より読みやすい議会だよりに目指して取組を進めていきます。

(滝沢)



広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○坂井 悦子 新井 重治
関田 直子 ○平沼 弘 松橋 律子

戸田競艇場開催日

8/5~8/8、9/9~9/12、9/28~10/1

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)